

環境放射線の評価結果を

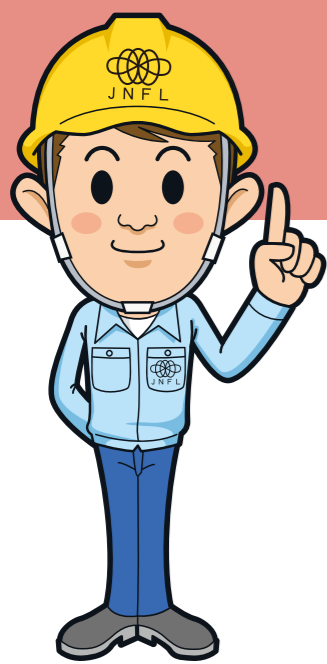
お知らせします。

平成24年
4月から6月

特集

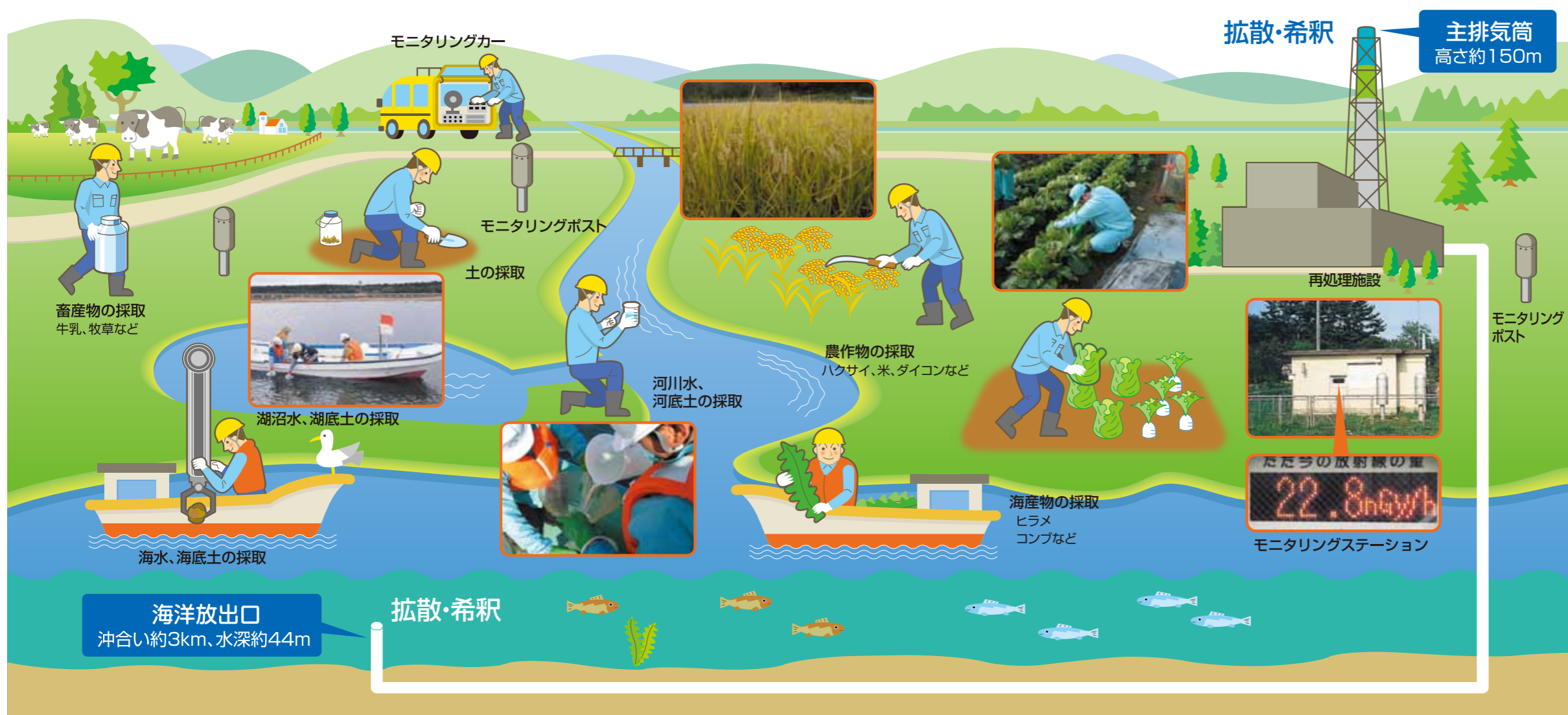
放射線に関する特別インタビュー Part1
放射線を正しく恐れる
「ものさし」を持つ

裏面をご覧ください▶▶▶



原子燃料サイクル施設の周辺環境における放射線の状況を把握するため、当社では、モニタリングステーション等による空間放射線量率の監視を連続的に行うとともに、さまざまな試料を採取し、分析・測定を行っています。

平成24年4月から6月の結果は、青森県の調査結果とあわせて、一般開催された、放射線の専門家や地元自治体・農漁協など各種団体の関係者等で構成される「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議（評価委員会：10月31日開催、監視委員会：11月28日開催）」において審議され、「概ねこれまでと同じ水準であった」と評価・確認されました。下段に、青森県と当社のモニタリング結果をあわせて表示します。



当社ホームページのご紹介

当社ホームページでは、施設周辺の放射線測定のリアルタイムデータなどの情報をお知らせしています。

<http://www.jnfl.co.jp>

●放射線モニタリングのページ



●空間放射線量の監視ページ

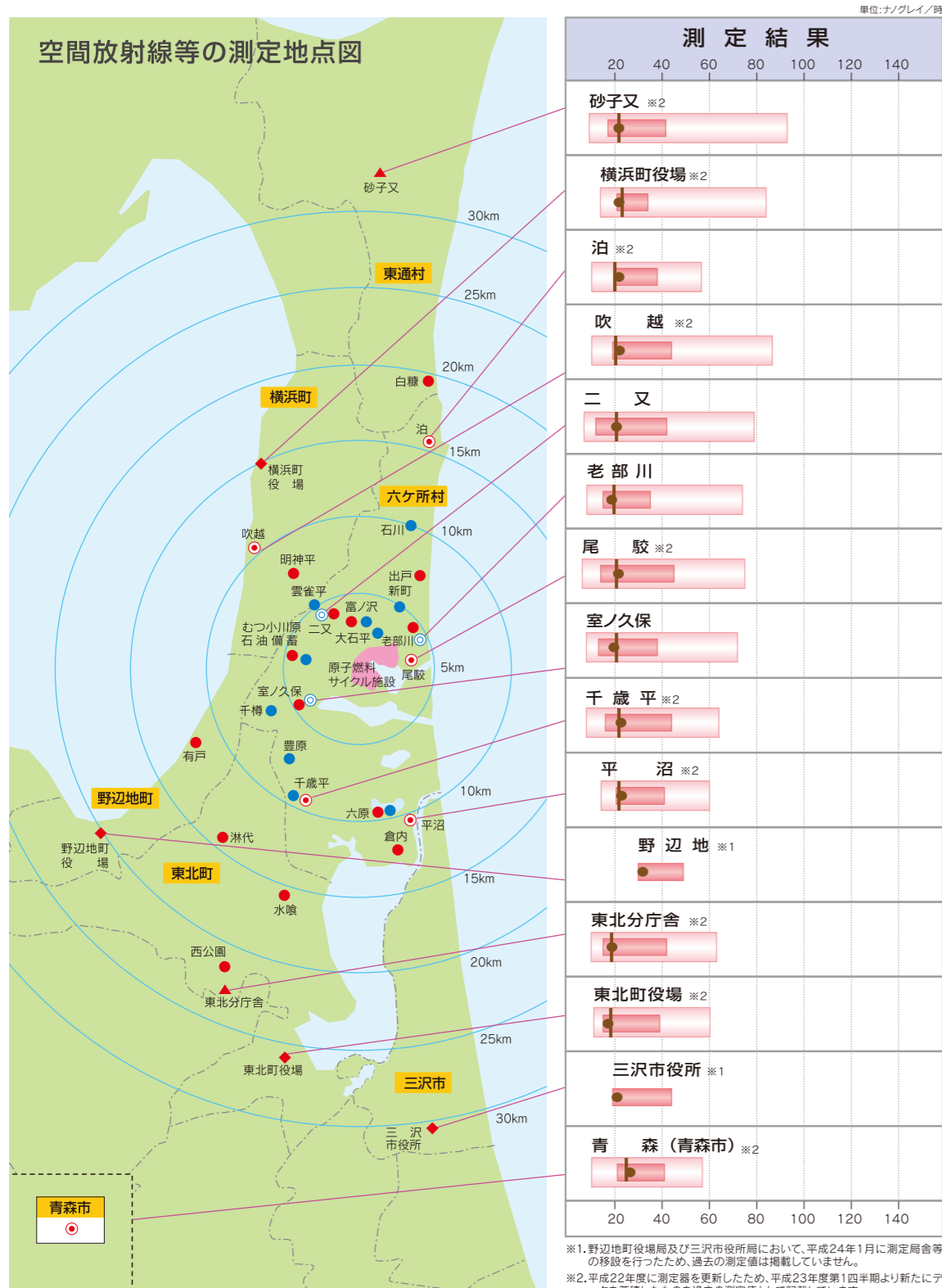


日本原燃

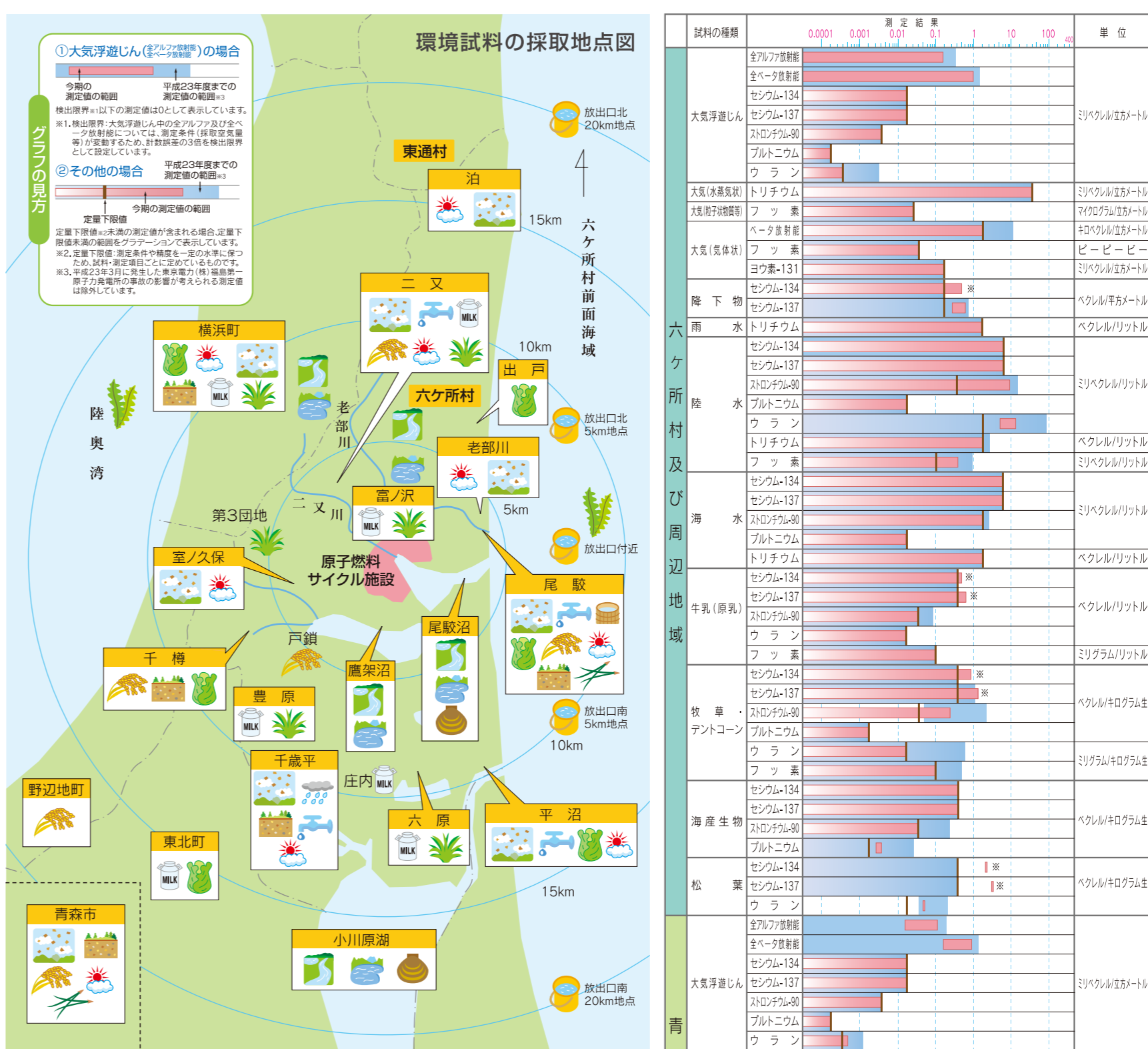
平成24年12月号

発行元：日本原燃株式会社 広報・地域交流室
TEL:0175(71)2002

空間放射線等のモニタリング結果

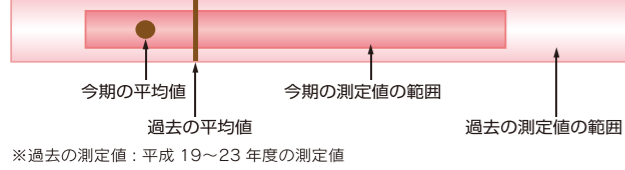


環境試料中の放射能等のモニタリング結果



グラフの見方

【空間放射線量率】



凡例

区分	県	事業者
モニタリングステーション及び積算線量計	●	○
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	◇
モニタリングポスト	▲	
積算線量計	●	●

凡例

試料の種類	採取時期	記号
河川水	7.10月	①
湖沼水	4.7, 10.12月	②
井戸水	4.7, 10.12月	③
河底土	7.10月	④
湖底土	10月	⑤
表土	7月	⑥
土	4.7, 10.12月	⑦
大気浮遊じん	4.7, 10.12月	⑧
水蒸気	4.7, 10.12月	⑨
気体状	4.7, 10.12月	⑩
降下物	4.7, 10.12月	⑪
雨水	4.7, 10.12月	⑫
陸水	4.7, 10.12月	⑬
海水	4.7, 10.12月	⑭
海産物	4.7, 10.12月	⑮
牧草	5.8月	⑯
デントコーン	7.10月	⑰
茶葉	7月	⑱
松葉	4.10月	⑲

※平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる
◎参考:「モニタリングつうしんあおもり」No.86 平成24年度第1四半期報